


# ネイチャーウォーク

平成 年 月号  
200 . . 発行  
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

先月のネイチャーウォーク

## ～天覧山無我夢虫～



(西武池袋線飯能駅～同駅)



梅雨明けがまだ宣言されていない7月22日、すっきりしない天気ではありましたが、西部池袋線は飯能駅に約30名の参加者が集まりました。今月は昆虫部会との合同で、飯能市の有名ハイキングコースの一つ、天覧山をあるきました。夏の飯能にはどんな虫がいるのでしょうか？

飯能市といえば東京のベッドタウンとしても有名ですが、一方でこんなお店もあったり。懐かしい看板やら一体何の商品なのかも分からない看板やらが所狭しとならんでいました。...ところでこのお店、何のお店？



能仁寺前の公園にてトイレ休憩...と、そこで思わぬお客が！日本の国蝶でもあるオオムラサキが、のんびりと休憩中でした。「きれい～！」「捕まいたい～！」といった参加者の驚きと喜びに満ちた声に、同公園で休んでいた方もびっくりしたのではないのでしょうか？



捕らえた！でもここからが大変！傷つけないように、おそろおそろ網から出しました。

なおこのオオムラサキは、あとでスタッフ一同がおいしく頂きましたちゃんと野に放してあげました。

当日は雨かと危ぶまれていましたが、幸いにも降られずにすみました。ただ、その分湿度がとても高かった...!



道中蒸し暑さを感じずにはいられませんでした。それでも木陰に入るとひんやりとした空気につつまれ、ほっと一息つけました。

天覧山は多峯主山とあわせて、地元の自然保護団体の熱心な活動もあり、ごく最近団地開発計画が撤回されたばかりです。残すことが難しい首都圏の自然。その大切さを、身体で感じていただけたのではないのでしょうか。



きれいな生きもの、こわい生きもの、とても数が少ない生きもの、最近増えている生きもの。なぜこんなにきれいなもの? どうして減ってしまったの? どうして増えたの? ...みんなそれぞれ意味を持っています。それはもちろん、私たちが住んでいる環境と深くつながっています。



生きものと自然との関わり合いについて考えることができました。わかりやすい解説をありがとう、Sさん。

見晴らしのよい天覧山...というにはちょっと曇っていましたが、山頂でお昼ご飯。その後、毎月恒例...といっても昆虫部会にとっては一年ぶりですが Walk 歩こう認定証の授与式。今回は1名の認定がありました、おめでとうございます。そしてこれからもよろしく願いますね！



午後は別コースで下山、飯能駅まで歩きます。本来ならもう少し寄り道する予定だったのですが、先日の雨で山道がぬかるんでいたこともあり、やむを得ず短縮コース。

お昼過ぎになると気温も湿度もますます上昇。家族連れでおおいににぎわっている河原を歩きました。

冷たくて気持ちよさそう...



トラスト地を訪れながら、同行していただいた地元の“だんでいなおじさま”1さんから、飯能で展開されている自然保護活動の歴史とこれらについてお話が。

飯能市では、大切な自然を守り活かしていくエコツーリズムをすすめています。もっと深く、飯能の自然と歴史、文化に触れてみませんか。

**お疲れ様でした。**

「エコツーリズムについてもっと知りたい、どんなイベントをやっているのかな? と思ったら、  
「飯能名栗エコツーリズム (<http://hanno-eco.com/>)」にアクセスしてください。」